

町道の一部道路廃止（公園整備）のお知らせ

洞爺湖温泉地区で、昨年から施工しています洞爺湖温泉公園の整備工事（土木工事）を、引き続き今年も実施することになりました。これに伴い、桜ヶ丘通り線（下記図面参照）の一部は公園の区域内となり、今後は通行が出来なくなりますのでお知らせいたします。工事施工に際しては、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願い申し上げます。

町道桜ヶ丘通り線通行止め

平成19年7月13日より



問合せ先
建設課
(☎) 74-3012

わたしのうた

短歌 【あぶた短歌会】 六月定例会

ありなしの春の温もり土にしみ

まばらに青し狭庭のはこべら

高低の囀り時にはふるはせて

恋の相手を終日さがす

朝のめざめ窓開け放てば六月の

風爽やかに部屋に流るる

百二歳の長寿を誇り安らかに

母逝きませり亡父と同じ命日に

この年もまた逢へたるをよろこびぬ

鉄線の花の彩ふむらさき

水無月の三豊の山に熊出でし

「触れ」の届き来羈たちめる

風邪引きの微候もなきまま発熱に

要支援の妻吾を叱咤す

朱にもえるレンゲつつぢのあざやかさ

心癒さる庭の花花

朝もやのなかにたたずむ耳もとに

鳥のさえずり神の声に聞こゆ

母待ちて泣いてねむりし三の孫

中二となりて野球のエース

充実とみずから聴かせ生きしが

信じ難しも時世のながれ

満開の杜鵑花躑に影おとす

※牌―手水鉢のこと
坪庭に杜鵑花はみ出す裏通り

頼られて老いは踏ん張り草を刈る

濡れ緑のささくれに座す杜鵑花かな

※春鳥―春の鳥
春禽も新車も祓ひ禰宜の幣

※禰宜―神主さん
夏草の刈られてをりし夜学の碑

花さつき闇の中にも濃ゆき影

待合の無口の人ら更衣

俳句 【あぶた俳句会】 六月定例会

大久保とみ乃

中野 イマ

元田 フジ子

石黒 まさ子

室野 晃慶

赤塚 瑛子

山本 孝

伊藤 静子

北島 加代

太田 智

大西 芳子

三瓶 修

塩川 サチ子

小笠原 勇

井村 育子

矢野 知子

菅原 敏子

瀬川 稔

那須 伶子